

産学連携による金融教育の取り組み

総合情報学部社会情報学科 山口隆久
(中小企業診断士)
岡山県信用保証協会特別上席推進役 安東 官
(中小企業診断士)

Keyword ; 地域金融、地域経済、企業経営、金融教育

1. 金融教育取り組みの目的

金融教育は、「金融」という言葉が独特の響きをもっているために、入り口の段階で敬遠されてしまう嫌いがある。例えば、「内容が専門的でとっつきにくい」、「資産を増やしたり儲けることばかり教えるのは、学生たちの健全な心の発達を歪める危険がある」などの声に代表される。しかし、金融教育は、お金や金融の様々なはたらきを理解し、それを通じて自分の暮らしや社会について深く考え、自分の生き方や価値観を磨きながら、より豊かな生活やよりよい社会づくりに向けて、主体的に行動できる態度を養う教育であると考えます。いわゆる金融教育は、学生たちに、現実に足場を置いてしっかり考える基礎力をつけ、たくましく生きる力を養わせる上で大きな利点をもっている。

2. 岡山県信用保証協会による教育の概要と特徴

信用保証協会の大きな役割は、中小企業と金融機関とを結びつける「かけ橋」の役目を果たすものであり、中小企業の金融上の不利性を解決するために、事業の経営に真面目に努力し、将来に向かって発展の可能性のある中小企業に対して、金融上の強力な「公共的な保証人」となって、融資の途を拓く専門機関が、岡山県信用保証協会です。これらの経営理念をベースに、岡山理科大学での「金融システム」「ファイナンス」論の講座を受け入れ、地域経済の発展と人材育成に資する教育研究を通じて、地域への社会貢献をはかることを目的とし、実体経済の調査・教育研究を行い、併せて地域金融機関が果たしうる役割等の金融経済について、信用保証協会ならではの視点での教育研究を行います。

3. 講座応用の可能性

岡山理科大学では、初めての金融系の講座の開設ということも重なり、本講座をきっかけに、多くの学生が「金融」に興味を持ち始めています。その結果、金融機関や一般企業での財務系の職種を希望する学生が多く出始めており、さらに学生ではかなりの難関資格である「ファイナンシャル・プランナー」に3名合格するなどの成果を上げつつあります。そして、これらの学生たちが、岡山の企業において講座で習得した知識を活かし、活躍する人材になることで、地域への社会貢献をはかれると考えます。